

平成24年度当初予算における財源不足の解消状況
 (財政構造改革の取組効果と特別の財源対策)

(単位：億円)

平成24年度一般財源収入総額	3,721
平成24年度所要一般財源総額	3,948
平成24年度予算における財源不足額 (ア)	227

(財源不足への対応策)

財政構造改革の推進による効果額 (イ)	目標	実績
		91
<給与費>総人件費の削減	11	12
<投資的経費>公共投資の抑制, 市債残高縮減	5	5
<消費的経費>事業見直し等による財源確保	25	28
<歳入>資産有効活用等による財源確保	50	53

平成23年度の黒字見込みを活用した, 基金による財源の年度間調整 (ウ)	33
--------------------------------------	-----------

平成24年度予算 特別の財源対策必要額 (ア) - (イ) - (ウ)	96
-------------------------------------	-----------

行政改革推進債の活用	35
公債償還基金の活用	61

(参考1) 中期財政収支見通しにおける24年度特別の財源対策必要見込額107億円

(参考2) 23年度の黒字見込みを活用した基金による財源の年度間調整

23年度一般会計収支見通し	61
一般財源収入 (市税) の増	55
歳出 (一般財源) の不用	6

61億円の活用策

①23年度公債償還基金取崩し (特別の財源対策) を全額回避	28
②23年度都市計画事業基金取崩し23億円を回避	23
③都市計画事業基金積立て	10

⇒②, ③により都市計画事業基金33億円を24年度予算に活用

<参考>市債発行額，残高

借換債+ 277 (うち高金利企業債+ 196)
新規債+ 72

1 実質市債発行額 (※) (当初比較) (単位：億円)

	24年度(案)	23年度	増減額
全 会 計	2,020	1,671	+349
一 般 会 計	442	434	+8
うち，投資的経費充当分	249	240	+9

予算配分の目安額である市債発行額 (投資的経費充当分) 250億円以下を達成

2 実質市債残高 (※) 見込み (単位：億円)

	24年度(案)	23年度	増減額	【参考】 22年度末
全 会 計	18,961	19,184	△223	19,427
一 般 会 計	9,558	9,707	△149	9,817

【財政運営の目標】 22年度末から27年度末の5年間で500億円 (5%) 以上削減
【24年度末見込み】 22年度末からの2年間で259億円削減

◎全会計の市債残高は，ピーク時 (平成14年度 2兆957億円)
から約2,000億円削減

※実質市債発行額，実質市債残高

国が返済に責任を持つ臨時財政対策債を除く，本市が実質的に返済に責任を負う市債発行額，市債残高

参考

◇臨時財政対策債を含めた市債発行額 (単位：億円)

	24年度(案)	23年度	増減額
全 会 計	2,618	2,235	+383
一 般 会 計	895	915	△20

◇臨時財政対策債を含めた市債残高見込み (単位：億円)

	24年度(案)	23年度	増減額
全 会 計	21,725	21,546	+179
一 般 会 計	12,322	12,069	+253